

2025年 第36週 9月1日～9月7日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

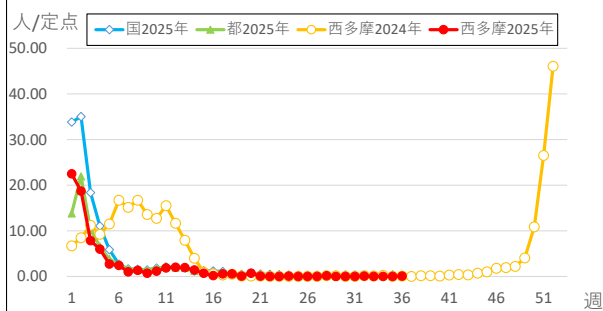
・全数届出の疾患は、腸管出血性大腸菌感染症1件(20代女性)、百日咳24件(性別は男性9件、女性15件、年齢は5～9歳5件、10代14件、20代1件、40代2件、50代1件、60代1件)の発生がありました。

・定点報告は、新型コロナウイルス感染症が前々週から減少しています。

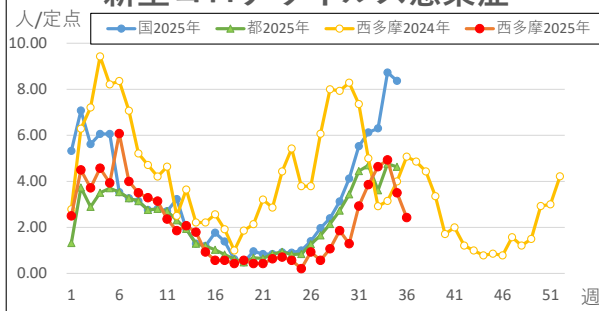
管内の感染症集団発生状況 ()は内訳

・新型コロナウイルス感染症2件(高齢者入所施設2件)の報告がありました。

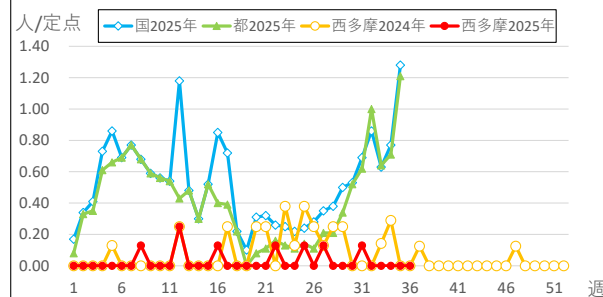
インフルエンザ



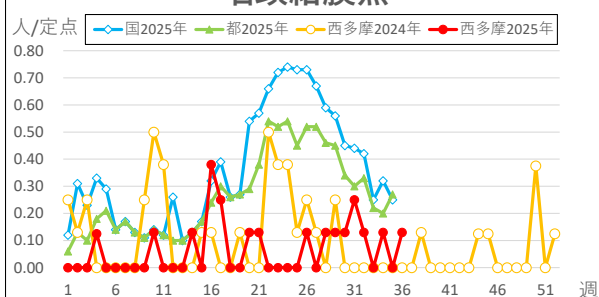
新型コロナウイルス感染症



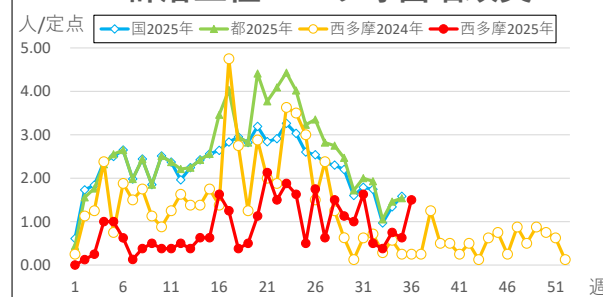
RSウイルス感染症



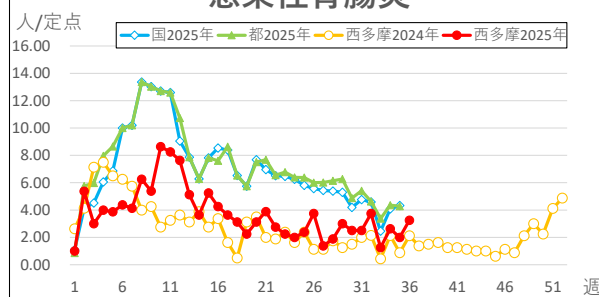
咽頭結膜熱



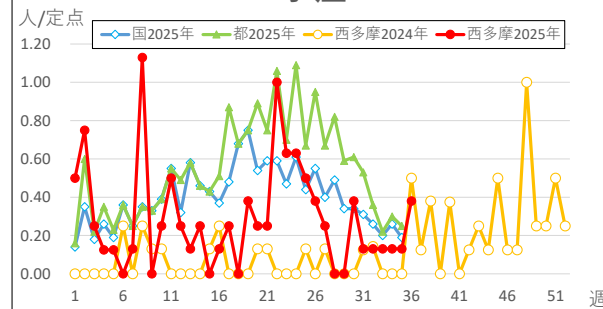
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



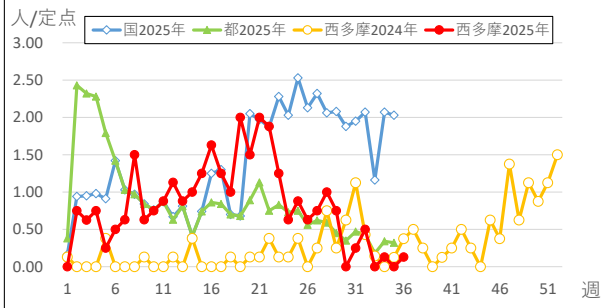
水痘



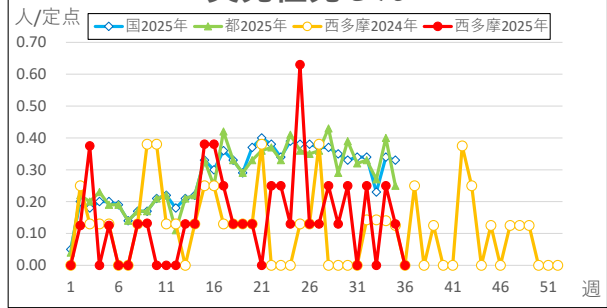
手足口病



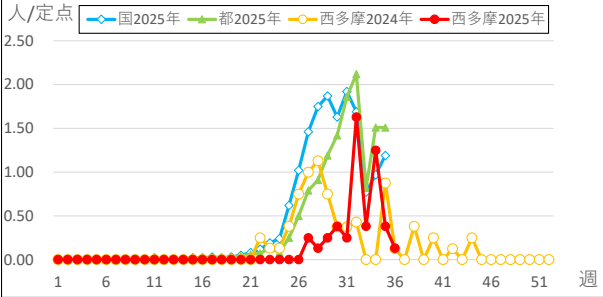
伝染性紅斑



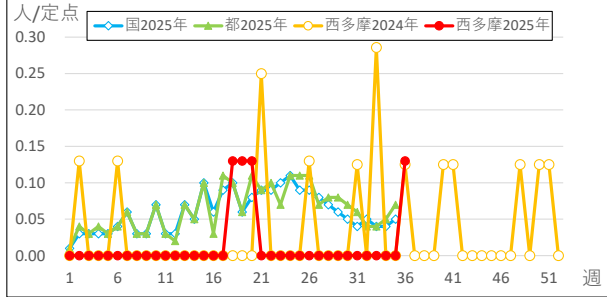
突発性発しん



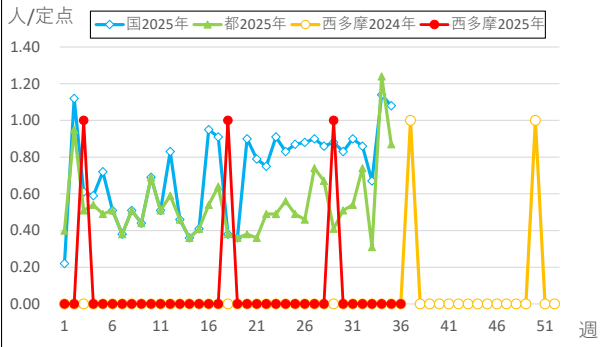
ヘルパンギーナ



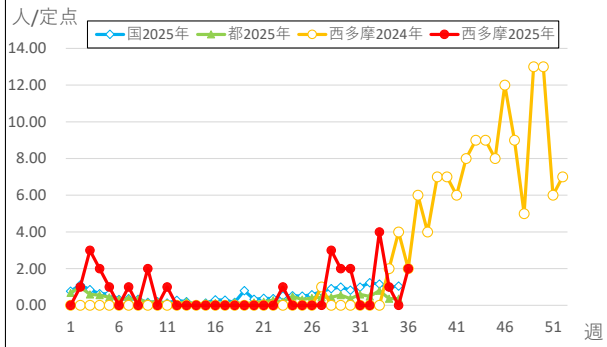
流行性耳下腺炎



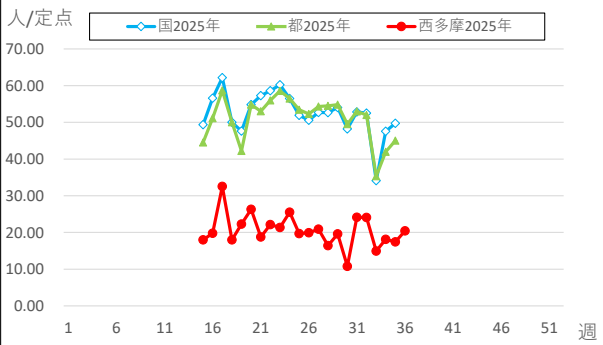
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



急性呼吸器感染症（ARI）



今週のトピックス

～ 結核 ～

9月24日から30日は、結核・呼吸器感染症予防週間です。

どんな病気ですか？

- ・ 都内では2023年に1190人が新たに結核と診断されました。西多摩保健所管内でも20人が結核と診断され、約6割が60歳以上の高齢者です。
- ・ 結核の最初の症状は風邪によく似ていて、高齢になると長引く咳（せき）などの典型的な症状がない場合もあり、受診が遅れることがあります。
- ・ 結核は薬を飲むことで治療できる病気です。

どのようにうつりますか？

- ・ 結核に感染して発病し、咳（せき）やくしゃみをした時に、結核菌を含んだ飛沫（しぶき）が周囲に飛び散り、その周りの水分が蒸発した状態（飛沫核）で空気中に漂い、それを吸い込むことによって感染します。

どのように防げますか？

- ・ 定期的に健診を受ける、咳（せき）が長引くときは早めに受診をするなど、ご自身の健康に気をつけていきましょう。

〔令和7年度無料結核健診（東京都）〕

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/kekaku/kekaku/kekakukensin_akihabara7



※参考

- ・ 結核予防会は2025年9月26日（金）に「もういいかい？まーだだよ 令和7年度結核・呼吸器感染症予防週間特別講演会」を開催します。

<https://www.jatahq.org/news/5428>

～ SFTS（重症熱性血小板減少症） ～

どんな病気ですか？

- ・ 平成25年に報告されて以降増加し、近年では年間100例を超えています。これまでは、西日本を中心に報告されていましたが、このたび、北海道（札幌市）で初めてSFTSの症例が確認されました。
- ・ 全国の年間の累計報告数は第35週時点で149例（昨年1年間の累計報告数は120例）となっています。
- ・ ダニに咬まれることによって感染するダニ媒介感染症の1つです。ダニによる感染症の多くは、咬まれたあと数日から数週間以内に発熱や頭痛、関節痛、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。SFTSでは、意識障害や出血症状が現れ重症化する場合があり、日本での致死率は25～30%といわれています。潜伏期間は6～14日です。

どのようにうつりますか？

- ・ ダニに咬まれることによって感染しますが、すべてのダニが病原体を持っているわけではありません。

どのように防げますか？

- ・ ダニは人間以外にも野生動物やイヌ、ネコも吸血します。山林などに多く生息し、庭や畑、あぜ道などにもいますので、農作業やハイキングなどで山林に入る場合は、ダニに咬まれないように長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を控えましょう。また、服にダニが付いた場合に確認しやすいよう明るい色の服を着るようにしましょう。

※詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」について

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

厚生労働省「ダニ媒介感染症啓発ツール」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

東京都感染症情報センター「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」R7.8.29更新

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/sfts/>

感染症ひとくち情報（東京都）が更新されました



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	1週目からの累計
新型コロナウイルス感染症	26	18	41	54	65	69	49	34	1,057
インフルエンザ	0	0	0	1	0	0	0	1	869
RSウイルス感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	8
咽頭結膜熱	1	1	2	1	0	1	0	1	18
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	8	13	4	3	6	5	12	239
感染性胃腸炎	24	20	20	30	10	21	16	26	1,039
水痘（みずぼうそう）	0	3	1	1	1	1	1	3	80
手足口病	1	1	1	0	0	0	0	0	20
伝染性紅斑	6	0	2	4	0	1	0	1	232
突発性発疹	1	2	0	2	0	2	1	0	40
ヘルパンギーナ	2	3	2	13	3	10	3	1	31
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0	0	0	0	0	0	0	1	4
流行性角結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	3

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです、国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>